



次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

(1) 次の①～③を計算しなさい。(各5点)

$$\textcircled{1} \quad 7 + (-3)^2 \div \left(-\frac{3}{5}\right)$$

$$\textcircled{2} \quad \frac{1}{2}(5a - 4b) - 3\left(\frac{1}{6}a - \frac{1}{3}b\right)$$

$$\textcircled{3} \quad \frac{6}{\sqrt{12}} + \sqrt{18} \times (-\sqrt{6})$$

(2) ある商品を150個仕入れて、定価をつけて売った。50個売れ残ったので、残りを定価の3割引きですべて売ったところ、売り上げは予定よりも27000円少なくなった。

このとき、次の①、②の問いに答えなさい。(各3点)

① 商品1個の定価を x 円とすると、商品1個の値引き後の値段を x を使って表しなさい。

② 実際の売り上げを求めなさい。

(3) Aさんは10点満点のテストを全10回受けた。下の表は、第1回から第10回までの得点をまとめたものである。

このとき、次の①、②の問いに答えなさい。(各3点)

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
得点(点)	4	7	5	6	5	8	9	6	10	9

① 第1回から第10回までの得点の中央値(メジアン)を求めなさい。

② 上の表において、全10回のテストで1回だけ採点の誤りがあり、得点が1点高くなったので、第1回から第10回までの得点の中央値が変化した。採点の誤りがあったテストを第 n 回とすると、 n の値をすべて求めなさい。

(4) 次の①、②の問いに答えなさい。(各3点)

① 等式 $ax - by = 1$ を y について解きなさい。

② 大小2つのさいころを同時に1回投げ、大きいさいころの出た目の数を a 、小さいさいころの出た目の数を b とする。

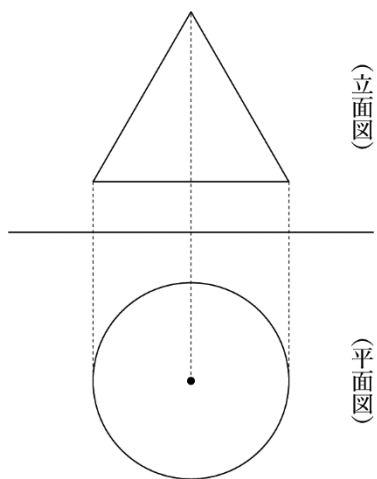
このとき、 x 、 y についての二元一次方程式 $ax - by = 1$ のグラフが、直線 $y = 2x$ と平行となる確率を求めなさい。

ただし、さいころを投げるとき、1から6までのどの目が出ることも同様に確からしいものとする。

- (5) 二次方程式 $2x^2 - ax + 3 = 0$ の解の 1 つが $x = 3$ であるとき、 a の値ともう 1 つの解を求めなさい。 $(a$ の値ともう 1 つの解で各 3 点)

- (6) 下の図は、ある立体の投影図で、立面図の三角形は 1 辺が 4cm の正三角形、平面図は円である。

このとき、次の①、②の問いに答えなさい。(各 3 点)



- ① この投影図で表される立体を、次のア～エのうちから 1 つ選び、符号で答えなさい。

ア 三角柱 イ 三角錐 ウ 円柱 エ 円錐

- ② この投影図で表される立体が①で解答したものであるとき、この立体の体積を求めなさい。

- (7) 下の図のように、3点 A, B, C がある。このとき、次の条件を満たす点 P を作図しなさい。
また、点 P の位置を示す文字 P も書きなさい。
ただし、三角定規の角を利用して直線をひくことはしないものとし、作図に用いた線は消さずに残しておくこと。(6 点)

条件

- ・ $\angle APB = 90^\circ$ である。
- ・ $\triangle ACP$ は $\angle ACP = \angle APC$ の鋭角三角形である。

B
•

A
•

•
C

次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

(1) 次の①～③を計算しなさい。(各5点)

必! ① 正負の数：四則 $7 + (-3)^2 \div \left(-\frac{3}{5}\right) = 7 + (-3) \times (-3) \div \left(-\frac{3}{5}\right) = 7 + \overset{3}{\cancel{3}} \times \left(-\frac{5}{\cancel{3}}\right)$
 $= 7 - 15$
 $= -8$



指数の位置による違いに注意しよう!

$$-3^2 = -3 \times 3$$

$$(-3)^2 = (-3) \times (-3)$$

必! ② 多項式の計算 $\frac{1}{2}(5a-4b) - 3\left(\frac{1}{6}a - \frac{1}{3}b\right) = \frac{5}{2}a - 2b - \frac{1}{2}a + b$
 $= 2a - b$

必! ③ 根号を含む計算 $\frac{6}{\sqrt{12}} + \sqrt{18} \times (-\sqrt{6}) = \frac{\overset{3}{\cancel{6}}}{\underset{1}{\cancel{2}}\sqrt{3}} - \sqrt{18 \times 6} = \frac{3}{\sqrt{3}} - \sqrt{3 \times 6 \times 6}$
 $= \frac{3 \times \sqrt{3}}{\sqrt{3} \times \sqrt{3}} - 6\sqrt{3} = \frac{\overset{1}{\cancel{3}}\sqrt{3}}{\underset{1}{\cancel{3}}} - 6\sqrt{3} = \sqrt{3} - 6\sqrt{3} = -5\sqrt{3}$

分母の√は有理化する!

(2) ある商品を150個仕入れて、定価をつけて売った。50個売れ残ったので、残りを定価の3割引きですべて売ったところ、売り上げは予定よりも27000円少なくなった。

このとき、次の①、②の問いに答えなさい。(各3点)

必! ① 文字式の利用 商品1個の定価を x 円とすると、商品1個の値引き後の値段を x を使って表しなさい。

値引き後の値段は、定価 x 円の3割引きなので、 $\left(1 - \frac{3}{10}\right) \times x = \frac{7}{10}x$ (円)

② 一次方程式の利用 実際の売り上げを求めなさい。

100個を定価 x 円で、50個を値引き後の $\frac{7}{10}x$ 円で売ったときの実際の売り上げは、

$$100 \times x + 50 \times \frac{7}{10}x = 135x \text{ (円)}$$

予定していた売り上げ150 x 円より27000円少ないので、

$135x = 150x - 27000$ これを解いて、 $x = 1800$ これは問題に合っている。

よって、実際の売り上げは、 $135 \times 1800 = 243000$ (円)

(3) Aさんは10点満点のテストを全10回受けた。下の表は、第1回から第10回までの得点をまとめたものである。

このとき、次の①、②の問いに答えなさい。(各3点)

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
得点(点)	4	7	5	6	5	8	9	6	10	9

【啓】① **代表値** 第1回から第10回までの得点の中央値(メジアン)を求めなさい。

得点を低い方から順に並べると、4, 5, 5, 6, 6, 7, 8, 9, 9, 10(点)

中央値は5番目と6番目の値の平均値だから、 $(6+7) \div 2 = 6.5$ (点)

② **代表値** 上の表において、全10回のテストで1回だけ採点の誤りがあり、得点が1点高くなったので、第1回から第10回までの得点の中央値が変化した。採点の誤りがあったテストを第 n 回とすると、 n の値をすべて求めなさい。

6点のテストが7点に、または、7点のテストが8点になれば、中央値は7点になるから、採点の誤りがあったのは、第2回、第4回、第8回のいずれかである。

よって、 $n=2, 4, 8$

(4) 次の①、②の問いに答えなさい。(各3点)

【啓】① **等式の変形** 等式 $ax-by=1$ を y について解きなさい。

ax を右辺に移項して、 $-by = -ax + 1$

両辺に $-\frac{1}{b}$ をかけて、 $y = \frac{a}{b}x - \frac{1}{b}$ (または、 $y = \frac{ax-1}{b}$)

② **場合の数と確率** 大小2つのさいころを同時に1回投げ、大きいさいころの出た目の数を a 、小さいさいころの出た目の数を b とする。

このとき、 x, y についての二元一次方程式 $ax-by=1$ のグラフが、直線 $y=2x$ と平行となる確率を求めなさい。

ただし、さいころを投げるとき、1から6までのどの目が出ることも同様に確からしいものとする。

二元一次方程式を y について解くと、①より、 $y = \frac{a}{b}x - \frac{1}{b}$

このグラフが、直線 $y=2x$ と平行であるためには、傾きが等しい、すなわち、 $\frac{a}{b}=2$ となればよい。

よって、 $\frac{a}{b}=2$ となるのは、右の表の○をつけた3通り。

したがって、求める確率は、 $\frac{3}{36} = \frac{1}{12}$

$a \backslash b$	1	2	3	4	5	6
1						
2	○					
3						
4		○				
5						
6			○			

- 【5】 二次方程式 $2x^2 - ax + 3 = 0$ の解の1つが $x=3$ であるとき、 a の値ともう1つの解を求めなさい。(a の値ともう1つの解で各3点)

二次方程式に $x=3$ を代入すると、 $2 \times 3^2 - a \times 3 + 3 = 0$ これを解いて、 $a=7$

二次方程式に $a=7$ を代入すると、 $2x^2 - 7x + 3 = 0$

二次方程式の解の公式より、

$$x = \frac{-(-7) \pm \sqrt{(-7)^2 - 4 \times 2 \times 3}}{2 \times 2} = \frac{7 \pm \sqrt{25}}{4} = \frac{7 \pm 5}{4}$$

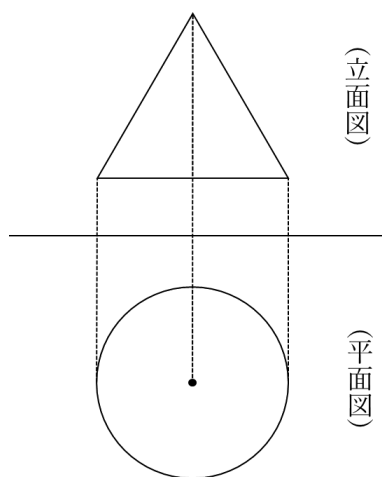
$$x = \frac{7+5}{4} = 3, \quad x = \frac{7-5}{4} = \frac{1}{2} \quad \text{よって、もう1つの解は、} x = \frac{1}{2}$$

因数分解できないときは、解の公式！



- (6) 下の図は、ある立体の投影図で、立面図の三角形は1辺が4cmの正三角形、平面図は円である。

このとき、次の①、②の問いに答えなさい。(各3点)



(立面図)

立面図は
立体を正面から
見た図！

(平面図)

平面図は
立体を真上から
見た図！



- 【1】 投影図 この投影図で表される立体を、次のア～エのうちから1つ選び、符号で答えなさい。

ア 三角柱

イ 三角錐

ウ 円柱

エ 円錐

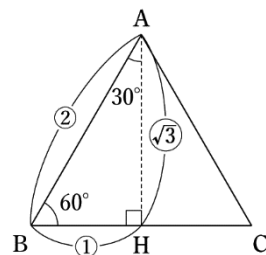
- ② 立体の表面積と体積 この投影図で表される立体が①で解答したものであるとき、この立体の体積を求めなさい。

円錐の底面は半径2cmの円だから、底面積は、 $\pi \times 2^2 = 4\pi (\text{cm}^2)$

右の図のように、立面図の正三角形について考えると、

$\triangle ABH$ は 30° 、 60° の角をもつ直角三角形だから、

$$AB : AH = 2 : \sqrt{3} \quad 4 : AH = 2 : \sqrt{3} \quad AH = 2\sqrt{3} \text{ cm}$$



よって、円錐の高さは $2\sqrt{3} \text{ cm}$ だから、立体の体積は、 $4\pi \times 2\sqrt{3} \times \frac{1}{3} = \frac{8\sqrt{3}}{3} \pi (\text{cm}^3)$

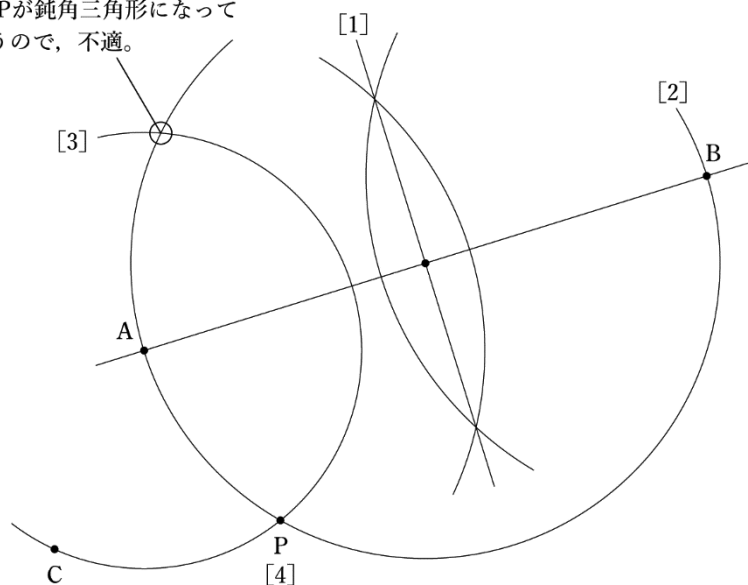
- (7) **作図** 下の図のように、3点 A, B, C がある。このとき、次の条件を満たす点 P を作図しなさい。また、点 P の位置を示す文字 P も書きなさい。

ただし、三角定規の角を利用して直線をひくことはしないものとし、作図に用いた線は消さずに残しておくこと。(6点)

条件

- ・ $\angle APB = 90^\circ$ である。
- ・ $\triangle ACP$ は $\angle ACP = \angle APC$ の鋭角三角形である。

この点を P とすると、
 $\triangle ACP$ が鈍角三角形になって
しまうので、不適。



$\angle APB = 90^\circ$ となる点 P は、線分 AB を直径とする円の周上にある。

- [1] 線分 AB の垂直二等分線をひき、線分 AB の中点をとる。
- [2] 線分 AB の中点を中心に、線分 AB を直径とする円(の一部)をかく。
- [3] 点 A を中心とした、半径 AC の円(の一部)をかく。
- [4] [2], [3] でかいた 2 つの円の交点のうち、直線 AB の下側にある点を P とし、点の位置を示す文字 P を書く。